

日高アドベンチャーキャンプ

趣旨 2泊3日の自然体験キャンプを通して、仲間との人間関係を深めるとともに、困難な状況に直面してもそれをしっかりと受け止めて乗り越えていく心身を養う。

ポイント 各グループに学生カウンセラーを3名配置し、子どもたちの活動やふりかえりの支援を行うとともに、子どもたちに協議や意思決定の機会を多く与えることで、子どもたち自身が主体的・協働的に活動に取り組めるよう配慮した。

期 日：令和4年8月11日（木）～13日（土）

会 場：国立日高青少年自然の家

対 象：小学校4年生～6年生

人 数：11名

ボランティア：6名（北海道教育大学岩見沢校）

プログラム

【8月11日（木）】

①テント設営（GS・IB・CC）②薪割り・火おこし・炊事（CC・IT）③たき火（RF）④休息・就寝（RF・SC）

【8月12日（金）】

⑤炊事（CC・IT）⑥焼き板クラフト（GC・SC）⑦炊事（SC・RF）⑧たき火（RF・CC）⑨就寝（RF・SC）

【8月13日（土）】

⑩炊事（CC・IT）⑪ハイキング・テント撤収（GC）⑫ふりかえり（RF）

※GS：ゴールセッティング、IB：アイスブレイク、CC：コミュニケーション、IT：インシアティブ

RF：ふりかえり、GC：グループチャレンジ、SC：ソロチャレンジ



朝の体操



火おこし



カートンドッグ作り

【成果】

- ・ 1グループ3名の学生カウンセラーの配置により、手厚く子どもたちの活動を支援することができた。
- ・ ソロキャンプ用テントの使用により、コロナ禍においても楽しく安全なテント泊体験を提供できた。
- ・ 子どもたちからは「みんなと仲良くなった」、「いろいろな人と出会えた」との声が寄せられ、子どもたちが新たな人間関係を築く機会を提供できた。

【課題】

- ・ 荒天時の代替プログラムがクラフト活動に限定されているため、今後はクラフト活動以外にも日高の自然を生かした特色のある活動プログラムの提供を検討したい。